

# 目の前の人を笑顔に。 施術を通して伝わる”心“が 価値を生む。



IHTA理事  
認定校YMCメディカルトレーナーズスクール校長

# 田村義信

*Yoshinobu Tamura*

PROFILE

鍼灸師・柔道整復師専門学校非常勤講師  
年間数千名の施術家、セラピスト、インストラクターを輩出。講師の指導の他、後進の育成に力を入れている。海外国内260店舗以上展開している整体サロン カラダファクトリー本店院長等を歴任。グランドエグゼクティブボディトレーナーとして10万人以上のお客様を施術。整体をとおして健康増進、予防を広めるために全国でIHTAセミナー開催中。

自分の存在意義を感じられる”何か“を探していた前職時代。技術に自信が持てなかつた施術者時代。今、IHTA理事、そしてYMC学長として多くの人たちに技術と知識を伝える田村義信先生が「本当にやりたいことができるようになつた」瞬間があつた。技術はあつて当然、それよりも大切な”安心させてあげられる力“とは?

”感謝“が自分を変えてくれた

— IHTAの理事、そして認定校YMCの学校長として全国の校舎でセミナーや講座を行う田村先生。整体師としてカラダファクトリーに勤務された時は、未だ3名しか前例のないグランドエグゼクティブボディトレーナーのタイトルを獲得した経験もおありだと。當時はどのようないらつしゃつたのですか?

最初の頃は整体師としての自分の技術にも自信を持てないまま、お客様と接していくました。そのような姿勢をいつも師匠に怒られていて「白衣を着た瞬間に”田村先生“に切り替えなさい。この先生な安心して体を任せられると思われる先生を演じなさい!」と言われていました。今思えば、技術的な問題は時間が解決し切ります。そのため大切な事は、お

お客様から信頼される存在になること。そのためには、「お客様が何を考え、どうしてほしいのか?」常に考えて行動していくこと。そういうことの積み重ねが、お客様と強い絆を深めています。その結果は施術の成果にも必ず現れてきます。技術以上に大切なものは、目の前の人を笑顔にしたいという「強い想い」であると私は思います。

日々、お客様に誠心誠意接していく中で頂ける「ありがとうございます」という感謝の言葉の数々が、自分を大きく成長させてくれていきました。その時やつたことがあります。これからもうなつて、辛かつた日々が嘘のようにあります。先生、本当にありがとうございました。「ここに通うように」とうございます。これからも宜しくお願いしますね!頼りにしています!」その光景は、今も鮮明に記憶しています。

その事が「自分にしかできないこと、困っている人の役に立つことができるこの仕事」に立つことができるこの仕事に興味を持つきっかけになりました。

— 「やりたかったこと」とは? ていること」を実感しました。整体師になる前「自分にしかできないこと」「困っている人の力になりたい」と考えていましたことが、この道を志すきっかけになりました。

が主に携わってきたのはセミナーや講座、ワークショップの講師を務めてくれる人材の発掘です。たとえば日本におけるアシユタンガヨガの第一人者、ケン・ハラクマ先生ですね。

IHTAは名前の通りインターナショナルな人材の育成を目的としているので、広い視野を

持つた様々なジャンルの講師陣

に参加してもらいたいと思つて

います。医療・健康の業界はそ

れぞれの分野の独立性が強く、

ひとむかし前は代替医療を認め

いません。医師がほとんどでした。現

在はリフレクソロジーもカイロ

プラクティックもヨガも一般的

になり、時代は変わってきてい

ます。人々の健康と幸せを第一

に願うという共通の目的のもと、

柔軟性を持った団体にしていく

ことで、認定校YMCの在校生

にも多様な価値観を養つてもら

いたい。もちろん私自身も健康

に関する幅広い知識を多くの人

たちに伝えていきたいと思って

います。

— 理事としては2010年のIHTA発足当時から務めていました。

秋山先生を中心として、IHTAの実務的な立ち上げのお手伝いをしてきました。私が

もともと私もよくマッサー

ジなどに通っていましたが、カ

# 施術を通して 伝わる何かに心を込める。

— 全ての生徒に自信と誇りを持つてもらうことが認定校YMCのスローガンだとお伺いました。田村先生ご自身はどのような思いで指導に携わっていましたか？

単に技術を教えて終わりではなく、人に必要とされる人材として、自信を持って社会に送り出してあげたいというのが私の強い気持ちです。技術以上に伝えたいのが、施術を通じて相手に伝わる”メッセージ性”。相手あってこそ成り立つ職業だと自覚し、相手の気持ちに敏感であってほしいと思います。目の前の人は何を求めているのか、自分にどうしてほしいと思っているのか。そして、自分は相手に何をしてあげられるのか。人様の体に直接触れる仕事であるからには、施術を通して伝わる”何か”があることを意識し、そこに自分の思いを込めることを学んでほしい。「まずは勉強してみよう」と気軽に気持ちで受講される生徒さんも最近は多いように感じますが、その

「全ての生徒に自信と誇りを持ていらっしゃいますか？」  
田村先生ご自身はどのように思いで指導に携わっていましたか？

田村先生の授業を通して、生徒さんはどのように学びを深めていくのでしょうか。

— 田村先生の授業を通して、生徒さんはどのように学びを深めていくのでしょうか。

認定校YMCでは施術者とお客様の両方の立場を経験してもらおうロールプレイングや、模擬体験店で実際の現場感覚に近いものを肌で感じてもらうことで、お客様とのコミュニケーションの取り方を学んでもらっています。中でも、安心して施術を受けてもらえる空気感“を作ることはとても重要なポイント。辛い症状に意識が向きすぎて、良くなっていることに気付けないお客様には思考にアプローチする必要がある。「大丈夫ですよ」「良くなっていますよ」と安心させてあげることで症状も改善していく場合があります。お客様の痛みの原因がどこにあるのか、このようなこともきちんと判断できる施術者になってほしいですね。

— 生徒さんはどのように学びを深めていくのでしょうか。

認定校YMCでは施術者とお客様の両方の立場を経験してもらおうロールプレイングや、模擬体験店で実際の現場感覚に近いものを肌で感じてもらうことで、お客様とのコミュニケーションの取り方を学んでもらっています。中でも、安心して施術を受けてもらえる空気感“を作ることはとても重要なポイント。辛い症状に意識が向きすぎて、良くなっていることに気付けないお客様には思考にアプローチする必要がある。「大丈夫ですよ」「良くなっていますよ」と安心させてあげることで症状も改善していく場合があります。お客様の痛みの原因がどこにあるのか、このようなこともきちんと判断できる施術者になってほしいですね。

— 目の前の人人が笑顔でいられるよう、誠心誠意尽くすことが施術者として一番大事なこと



施術の現場から離れないのは、生徒たちに現場の“今”を伝えたいから。施術者としても指導者としても誠心誠意、相手に向き合う。

## 田村義信先生の全国セミナー開催！

詳しくは、IHTAのHPをご覧ください。  
<http://ihta.or.jp/ihta-seminar-top/>